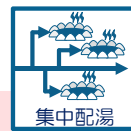




那須温泉

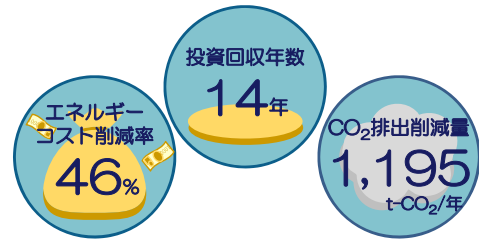


概要

自然流下による集中管理方式により、旅館や保養所、別荘等へ温泉を配湯している。集中配湯管には高断熱保温管を採用し、温度降下防止対策を行っている。

またその他にも、温泉温度降下時の対策として、温泉を熱源としたヒートポンプ昇温設備を導入しており、ヒートポンプでも不足する場合に備え、灯油炊きの補助熱源を設置している。

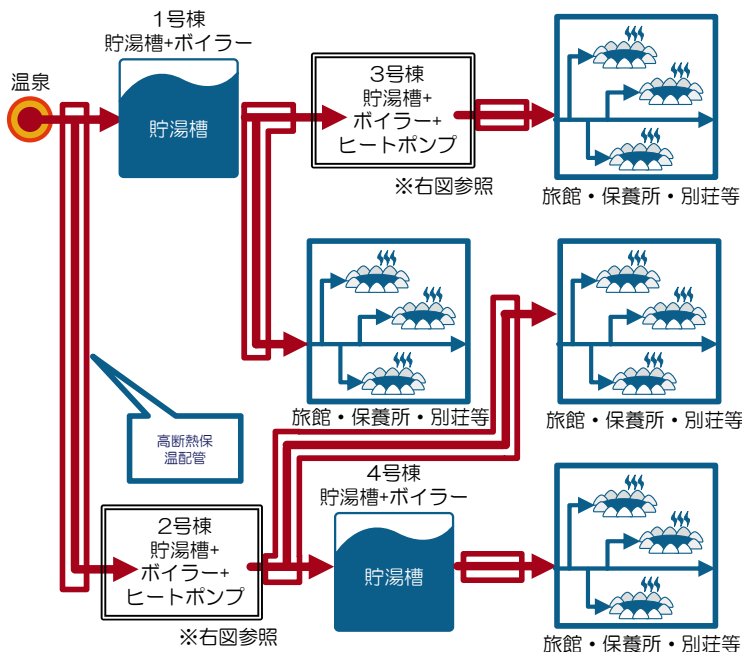
所在地	栃木県那須塩原市
泉質	硫黄泉、カルシウム-硫酸塩泉
温泉温度	60°C
利用温度	44°C
利用温泉	既存温泉
総事業費	2億6,400万円（一部補助金あり）



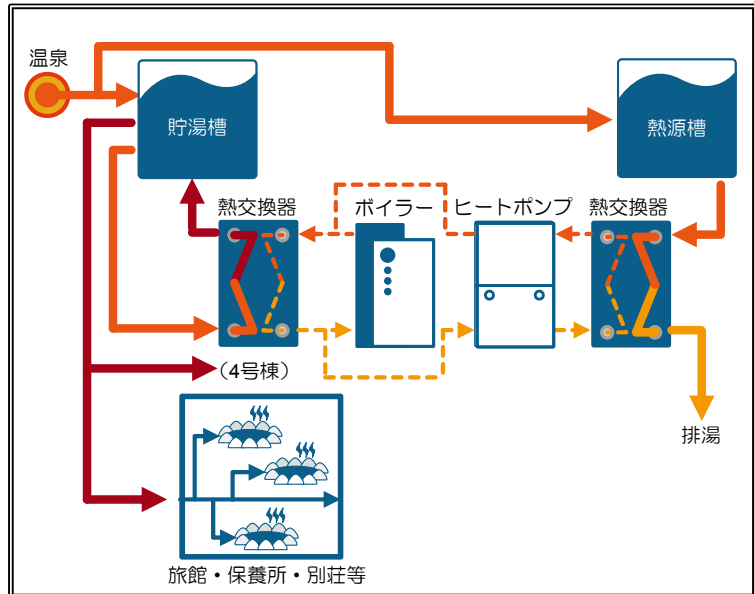
※エネルギーコスト削減効果、CO₂排出量削減効果、投資回収年数は、ヒアリング先による推定値（灯油使用量削減による効果）

主な温泉熱利用方法のシステム図

全体システム図



2・3号棟：貯湯槽+ボイラー+ヒートポンプ システム図



温泉 → 水 → 低 → 高

導入の流れ

実施体制

